

カンボジア通信

カンボジア教育支援基金 (KEAF-Japan) 会報

2014年3月 70号



〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5

JICA地球ひろば気付

カンボジア教育支援基金事務局

info@keaf-japan.com

http://keaf-japan.com

「プロモルプロム小学校に2013年末、図書室がオープンしました。生徒たちが本を奪い合うようにして読みふけています。KEAFに本をたくさん届けてもらったおかげです」(下の写真)。先生がそうお礼を言ってくれました。



サッカー熱がますます高まっています

16校で3回目の「教室」実施

第3回目の「サッカー教室」は2013年12月21-30日、小学校から高校まで16校で実施し、生徒や先生方から大歓迎を受けました。2回目の15校から1校増えました。3年連続でコーチを引き受けてくれた小林俊文先生(群馬県渋川青翠高校)から詳細な報告書を頂きました。今70号会報では、取りあえず概要報告をします。KEAFから岡宮喜雄さん(事務局)がコーディネーターとして同行しました。

「教室」はサッカー指導の専門家の、小林先生のプログラムにしたがって、①新春に全国高校大会がはじまる4つの高校ではサッカー部員を対象に、実戦を想定した個人技、組織的なプレーを各学校のレベルに合わせて指導、②小学校、中学校は「サッカーを楽しむ」をテーマに、③小学校と併設されている幼稚園児童にも楽しませる、という方針のもとで進められました。こどもたちのサッカー熱はますます高まっていて、みんな積極的に参加してくれました。参加生徒数は約1,700人、これとほぼ同数の生徒や先生が見物に集まりました。

こどもたちには小林先生のもとに寄せられた寄贈品からサッカーボール93個(ニューボールも含む)、ユニホーム(上下)45着、渋川青翠高校生徒会からのノート、ボールペン、鉛筆(まだいっぱい残っています)、2回目にボランティア参加してくれた小林茂さん(千葉・八街)からのマーク入りノート40冊などをお土産にしました。

《第 15 回総会報告》

カンボジア教育支援基金は2014年2月23日(日)東京・新宿のJICA地球ひろばで第15回総会を開き、2013年度(2012.9-2013.8)活動報告と決算報告および2014年度(2013.9-2014.8)活動計画と予算の承認を得ました。活動については会報『カンボジア通信』でお知らせしてきた通りです。決算報告と予算は以下の通りです。総会には71人(委任状を含む、出席率71.5%)が出席しました。

2013年度決算

| 収入の部 | | | 支出の部 | | |
|-------------|-----------|-------------|--------------|-----------|-----------|
| | 予算 | 決算 | | 予算 | 決算 |
| 一般支援 | 1,270,000 | 1,050,661 | 一般支援 | 1,925,800 | 1,263,490 |
| 年会費・寄付・カンパ | | 1,083,337 | 教科書・教材・ | | |
| *教育支援に充当 | | *(32,710) | スポーツ用具支援 | | |
| 奨学金 | 450,000 | 219,000 | 現地活動・事務費 | | |
| 高校生 | | | 奨学金 | 651,900 | 1,082,674 |
| 教員養成 | | | 高校生(106人) | | |
| 大学生(楓基金) | | | 教員養成(4人) | | |
| 教育支援 | 0 | 589,015 | 大学生(7人)(楓基金) | | |
| 寄付・カンパ | 0 | 556,305 | 教育支援 | 0 | 589,015 |
| *一般支援収入より充当 | | 32,710 | サッカー教室 | | |
| 収入合計 | 1,720,000 | 1,858,676 | 日本語教室 | | |
| 当期収支 | (857,700) | (1,076,503) | 子供あそび教室 | | |
| 前期繰越 | 6,637,400 | 6,637,400 | 支出合計 | 2,577,700 | 2,935,179 |
| 次期繰越 | 5,779,700 | 5,560,897 | | | |

2014年度予算

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|-------------|-------------|--------------|-----------|
| 一般支援 | 1,050,000 | 一般支援 | 1,270,000 |
| 年会費・寄付・カンパ* | 1,270,000 | 教科書・教材・ | |
| *教育支援活動へ充当 | (220,000) | スポーツ用具・ | |
| 奨学金 | 220,000 | 現地活動・事務費 | |
| 奨学資金 | 0 | 奨学金 | 1,199,000 |
| 教育支援 | 220,000 | 高校生(136人) | |
| *一般支援活動より充当 | | 教員養成(8人) | |
| 収入合計 | 1,490,000 | 大学生(7人)(楓基金) | |
| 当期収支 | (1,199,000) | 教育支援 | 220,000 |
| 前期繰越 | 5,560,897 | サッカー教室 | |
| 次期繰越 | 4,361,897 | 日本語教室 | |
| | | 子供あそび教室 | |
| | | 支出合計 | 2,689,000 |

スカイツリーや新幹線に歓声

高校生対象に「遊び教室」

ユウカリ福祉会中野みなみ保育園
保育士 足立 伸之

2013年11月に9日間、カンボジア・プレイヴェン州の3つの高校と1つの養護学校、首都プノンペンの小学校で、私にとっては2年ぶり2回目の「子ども遊び教室」を開催し、日本の文化や自然、遊びを子どもたちに伝えてきました。1回目は不安が一杯だったのですが、すっかりカンボジアの魅力に取りつかれ、今回は喜んで参加しました。

2011年の前は小学生が対象だったのに対し今回は高校生が中心でした。日本という異文化や異国に興味や関心を持ってもらい、少しでも夢を持ってもらおう。それが将来を真剣に考えるきっかけになるのではないかな。そして高校生活を最後まで続けてくれるきっかけになるのではないかな。そんな期待を込め、プロジェクターを使用することにして、パソコンに大量の写真や動画を入れ、準備しました。

かなりの高校生が携帯電話を持っていることに驚きました。プレイヴェン州都にあるブレアンドウン高校は街中にあり、農村部に比べ収入の良い家庭が多いこともあり、スマートフォン（中国製）を持っている生徒が多く、その他の高校ではスマートフォンではなく普通の携帯電話を持っている生徒が多くいました。

ヤシの木造りの家とコンクリート造りの家、土の道とアスファルトの道、電気が通じていない家と携帯電話・・・技術の発展に合わせ順を追って徐々に普及するのではなく、途中がすっぽり抜けた形で最先端の技術が入り込んできている。そんな日本人にはなかなか想像し難い不思議な世界が広がっていました。

すっぽり抜けているのは技術の発展だけではありません。今までTV、ラジオ、新聞などの外部の情報が入手手段がほとんどなかった中、携帯電話の普及とともにFacebookなどのSNSが普及し始めているのです。「Facebook やっていますか」と聞かれることが何度かありました。

地球儀や日本地図を映し出して日本の場所について説明しました。カンボジアでは韓国ドラマに人気

あり、韓国の影響が大きいのか、「日本はどこかな？」と聞くと、韓国を指さす人もちらほら。日本の場所が分かる人はクラスで1~2人と行ったところでした。

日本の四季についても話しました。カンボジアには雨季と乾季しかありませんので、桜が咲く春から順に季節の説明をすると熱心に聞き、特に冬や雪の写真になると、「おー」と歓声を上げて喜んでくれました。大雪の写真がでると「なんでそんなに雪が積もっているのか?」「どれぐらいの高さになるのか?」といった質問が出てきました。

意外に関心が高かったのが“田んぼ”です。日本の“棚田”のような小さな田んぼは、広大な田んぼしか見たことのないプレイヴェンの人々には不思議に見えたのでしょうか。「どうやって田植えをするのですか?」「年に何回収穫するの?」といったプレイヴェンの子どものならではの質問がいくつも出ました。その他食事の話やお寺の話、富士山の話など、みなさんよく聞いてくれました。

そして“遊び”です。こちら始める前は「高校生にけん玉や折り紙・・・どれだけ楽しんでくれるのだろう」と心配でしたが、思った以上に遊び、楽しんでくれました。教室が終わった後も夢中でけん玉の練習をして「とめけん」が出来るようになった子どももいました。

ブレアンドウン高校ではあえてスカイツリーや新幹線など先進国ぶりをアピールする写真は写しませんでした。単なる自慢話になり

かねないと考えたからです。しかし通訳のウン・ソワン氏にそういう写真も見せてあげて欲しいと言われて、次のコンポントウラバイ高校から、これらの写真と東日本大震災の動画を見てもらいました。東日本大震災の動画は生徒より教職員の方が興味があったようです。スカイツリーや新幹線の写真はやはり高校生には評判がよく、写真がでると「おー」と歓声が上がりました。

驚いたのは高校生たちの学ぶ意欲の高さでした。英語をある程度しゃべり、FacebookなどのSNSは英語でやり取りしていたのです。半日しか授業のないカンボジアの小~高校（教室が足りず午前の部と午後の部と授業を分けている）でこれほどしゃべることが出来るようになるには相当な勉強をしたに違いありません。そしてその英語を使いたいという思いが、英語で一生懸命話しかけてくる姿からひしひしと伝わってきました。



ありがとうございました (2013年11月18日～2014年2月14日)

年会費、寄付金、奨学金をお振込頂きました方々に心からお礼申し上げます(敬称略させていただきます)

| | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| (東京) | (東京) | (神奈川) | (神奈川) | (神奈川) | (東京) |
| 京) | (東京) | (神奈川) | (東京) | (東京) | (神奈川) |
| 京) | (東京) | (福島) | (群馬) | (神奈川) | (神奈川) |
| 京) | (東京) | (千葉) | (神奈川) | (滋賀) | (兵庫) |
| 京) | (東京) | (兵庫) | (千葉) | (東京) | (神奈川) |
| 葉) | (神奈川) | (東京) | (東京) | (東京) | (福岡) |
| 岡) | (東京) | (東京) | (大阪) | (大阪) | (兵庫) |
| 京) | (東京) | (神奈川) | (宮崎) | (東京) | (東京) |
| 京) | (東京) | (東京) | (千葉) | (東京) | (神奈川) |
| 京) | | | | | |

※お名前は個人情報なので伏せて掲載しています

※写真つき奨学生紹介の4、5、6、7頁は個人情報保護のため省略

◇養護施設のこどもたち



写真上は紙ヒコーキの飛ばしっこ。下は町のお祭りに出演したハリボテの仏様とドラマー。いずれもプレイヴェン市ラロック養護学校園児たち(2013年11月)。

◎寄贈の品、ありがとうございました

- ▽ (長野県) : ポロシャツ、Tシャツ、開襟シャツなど14着。
- ▽ (東京都) : スポーツバッグ、ショルダーバッグなど5点。
- ▽ (東京都) : ボールペン、ノートなど学用品段ボール1箱。
- ▽ (横浜市) : 手提げカバン、ショルダーバッグなど20点。

◇学校とお寺が同居



カンボジアは人口の98%が仏教徒という仏様の国。校庭にお寺が同居して学校が多い。お寺で修業する子どももいる。お寺はボル・ポト時代にほとんど全部が破壊された。KEAFが支援している貧しい村でも、みんなの喜捨によって寺の再建が進んでいる。写真はプレイトープ小・中学校で(2012年3月)。